

8~10月各研究会等案内一覧

(※神奈川県保険医協会が主催する全ての研究会には、(株)神保協が後援しております。)

<h3>9月19日(水)午後7時30分~</h3> <h4>医療問題研究会</h4> <p>愚若・神奈川県知事は、5月に大手新聞で准看護師の養成廃止を公表しました。県医師会の「急な廃止は困る」、「(検討会)での」検討途中で結論を出した手法もおかしい」との緊急意見を一顧だにせず、県の検討会は6月に知事の意向を汲んだ第一次報告書をまとめた。この問題を巡り神奈川県議会・厚生常任委員会では紛糾し深夜に及ぶ議論となりましたが、知事は依然と強硬姿勢を崩しておりません。看護職員は全国で5万6千人が不足し、その四分の一を神奈川県が占めています。看護師の大病院への集中偏在の下、高齢社会への第1線医療の対応、介護施設増加など、准看護師の役割・期待の増大や、准看護師の志望増加など社会環境も変化しています。当会の会員調査では95%が准看護師養成の廃止に「反対」を示し、地域医療が崩壊するとの切迫感に満ちた意見が多々寄せられております。事態は風雲急を告げております。つきましては、この情勢下で、准看護師問題の誤解を解き、その果たしている役割評価ならびに将来に関し、小松氏にご講演いただきます。</p> <p>ところ 協会会議室</p> <p>テーマ 「なぜいま准看護師養成廃止に反対するのか?」 〜療養病床の立場から〜</p> <p>講師 小松会病院院長 小松 幹一郎氏</p> <p>お申込み 政策部 045・313・2111</p>	<h3>9月5日(水)午後7時30分~9時</h3> <h4>臨床医学統計セミナー</h4> <p>近年はEBMへの関心が一段と高まってきております。しかし、EBMの1つのポイントとなる統計については、理解しようとするたび難解で、結果敬遠してしまいがちです。今回は統計の手法を理論的に理解するのではなく、臨床家として統計をどのように理解しておくべきかや「統計の入り口論」について東京大学大学院の大橋靖雄氏をお招きし、ご講演いただくこととしました。数学的に難解な点は省略して、実際に役立つ内容での講習です。</p> <p>ところ 協会会議室</p> <p>テーマ 「臨床家のための統計学入門」</p> <p>講師 東京大学大学院医学系研究科 疫学・予防保健学 教授 大橋 靖雄氏</p> <p>定員 50名</p> <p>お申込み 学術部 045・313・2111</p>
<h3>9月9日(日)午後1時~5時10分</h3> <h4>第6回神奈川県糖尿病療養指導士認定機構研修会</h4> <p>メインテーマ 「よく分かる 食事療法・運動療法」</p> <p>特別講演1 テーマ「今一度考えよう 糖尿病の食事療法」 講師 土井内科 院長 土井 邦紘氏</p> <p>特別講演2 テーマ「運動療法上級編」 講師 横浜市立みなと赤十字病院 小児科 部長 北里大学 医学部 小児科 助教 菊池 信行氏</p> <p>特別報告 テーマ「神奈川県糖尿病療養指導士のあり方」 演者 H.E.Cサイエンスクリニック 理事長 長「神奈川県糖尿病療養指導士認定機構」代表 平尾 紘一氏</p> <p>ところ 新都市ホール・そごう9階</p> <p>参加費 事前申込み2千円(当日支払3千円) (郵便局口座名:神奈川県糖尿病療養指導士認定機構、口座番号:00250・064697)</p> <p>*お振込み後の返金は出来ません。 *神奈川県糖尿病療養指導士認定のための研修会(5単位)</p> <p>*日本糖尿病協会療養指導医取得のための講習会 *日本糖尿病療養指導士認定・更新のための研修会(第2群1単位、栄養士、臨床検査技師については第1群)</p> <p>*日医生涯教育認定(4単位講座)C「5」、「10」、「11」、「13」、「73」、「76」、「80」、「82」</p> <p>共催 小野薬品工業(株)</p> <p>お申込み 研究部 045・313・2111</p>	<h3>9月30日(木)午後2時~5時</h3> <h4>税務会計記帳講習会</h4> <p>第1回 8月30日(木)午後2時~5時 「記帳の目的と簿記の説明」 ※全6回、10月4日まで毎週木曜日開催</p> <p>ところ 協会会議室</p> <p>講師 (第1・2回) 税理士 須藤 ふみ代氏 (第3・4回) 税理士 高橋 和宏氏 (第5・6回) 税理士 平田 由紀子氏</p> <p>参加費 1万5千円(テキスト代含む)</p> <p>参加対象 会員(医療機関のスタッフ、ご家族も可)</p> <p>お申込み 税対経営部 045・313・2111</p>
<h3>9月30日(日)午前10時~午後3時</h3> <h4>SEM IN AR</h4> <p>協会研究部は(株)ツムラと共催で漢方をもっと知りたいと希望される先生方に「漢方セミナー」を企画しました。今回のテーマは呼吸器と消化器、そして女性の不定愁訴を取り上げます。漢方薬を日常診療のなかに上手に取り入れることは大変重要だと考えられます。たくさんあるテーマの中から今回は3題に絞りました。日曜日の開催ですが、実りのあるセミナーにしたいと思っております。</p> <p>ところ かながわ労働プラザ</p> <p>テーマ 「医療用漢方エキス製剤の変遷」、「各領域別における漢方治療(①呼吸器領域 ②女性の不定愁訴 ③消化器領域)」、「医療用漢方製剤の現状について」</p> <p>参加対象 医師・歯科医師限定</p> <p>*日医生涯教育認定(2単位講座)C「21」、「46」、「83」、「84」</p> <p>*軽食をご用意いたします。</p> <p>共催 神奈川県保険医協会/ツムラ</p> <p>お申込み 研究部 045・313・2111</p>	<h3>9月20日(木)午後7時15分~9時</h3> <h4>第509回月例研究会</h4> <p>「何をやるにも億劫」、「疲れやすい」、「いつも眠い」等の症状では「うつ病」を疑う?これに便秘・寒がり・体重増加・むくみが加わったら「甲状腺機能低下症」かな。「女性十人に一人は何らかの甲状腺異常がある」と教科書に書いてあります。私の診療所にはそんな人はいません。それならば甲状腺疾患の患者を見逃している。今回の講演では甲状腺機能低下症をテーマにお話しします。</p> <p>ところ 崎陽軒本店会議室</p> <p>テーマ 「日常よく遭遇する 甲状腺機能低下症 その考え方と治療について」</p> <p>講師 済生会横浜市南病院外科(甲状腺)・甲状腺センター センター長 平川 昭平氏</p> <p>*日医生涯教育認定(2単位講座)C「18」、「19」</p> <p>お申込み 研究部 045・313・2111</p>
<h3>第10回児童虐待予防対策研究会</h3> <p>とき 10月6日(土)午後3時~5時</p> <p>ところ 協会会議室</p> <p>テーマ 「医師・歯科医師に求められる児童虐待発見時の対応」 〜鑑別診断と関係機関との連携〜</p> <p>講師 日本小児救急医学会理事長 北九州市立八幡病院院長 市川 光太郎氏</p> <p>講師 横浜市中央児童相談所 職員(予定) 樋口 謙</p> <p>お申込み 地域医療対策部 045・313・2111</p>	<h3>歯科臨床研究会</h3> <p>とき 9月6日(木)午後7時~9時</p> <p>ところ 協会会議室</p> <p>テーマ 「臨床応用にむけた 研究開発」 〜歯の再生と幹細胞移植〜</p> <p>講師 日本歯科大学生命歯学部発生・再生医学講座 教授 中原 貴氏</p> <p>参加対象 歯科会員(家族・スタッフを含む)</p> <p>*日本歯科医師会生涯研修事業認定研修会</p> <p>お申込み 歯科部 045・313・2111</p>

協会行事においては、その模様を写真撮影し、記事とともに機関紙に掲載することがありますので予めご了承ください。